

きらめく夢をこの手に抱いて

スマイルハートプラン「一人にやさしいまちづくり」とは

vol.10

ほんの少しの気付きと心のバリアフリー

広報12月号の19ページで「スマイルさんとハートさんが見たもの」というタイトルで、障害者用駐車場や歩道についてのマナーやモラルのことが書いてありました。

身体障害者連絡会では、これに関連して、施設などのバリアフリーについてグループワークを行いました。やはり、ここでも、駐車場や歩道については、大半の方が同じような経験をしたことがあるということでした。また、他にも次のような意見がありました。その一部を紹介します。

・火災警報装置

↓火災を知らせる警報はあるが、聴覚障害のため聞こえない。視覚で認識できるようパトライトなどの装置が必要。

・トイレレットペーパーのホルダー

↓左側についていることが多い。身体の左側が麻痺している人は、使いにくい。

普段の生活の中で気づかないことも、毎日使っているトイレのペーパーホルダーひとつとっても、立場をかえて考えると気付くことがあります。

ます。

マナーとモラル、そして、ほんの少しの気付きと思いやりが「一人にやさしいまちづくり」につながります。

なぜペーパーホルダーが2つあるのかしら？



ハートさん



七尾市役所 福祉課障害者福祉係
☎53-8464

「スマイルハートプラン」とは、笑顔で支え合う、ともに生きる心を重視した「七尾市障害者計画」の通称名です。

地域活動を支援 ～コミュニティ助成事業～

平成18年度事業実績

○三室町福浦地区集会所建設への助成



(財)自治総合センターでは、宝くじ受託事業収入を財源として、一定の基準に適合するコミュニティ活動に対して事業費の助成を行い、コミュニティの健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報活動を行っています。

※お問い合わせは 企画経営課 ☎53-1117

○香津浦公園整備（松百町）への助成



助成対象団体は、地方公共団体や地域のコミュニティ組織（町内会・自治会など）及びその連合体です。



宝くじは
緑の下の
子カラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。